

Coolプルオーバー 作り方



- クールな切り替えが特徴のプルオーバー&半袖カットソーのパターンです。
- すべて縫い代込みとなっておりますので、切り取ってそのまま使用出来ます。
- 一部重ね書きとなっておりますので、コピーまたはトレースしてお使いください。
- パターンに「わ」の表記と指定の数字が記載されている箇所以外は縫い代1cmで作製することとします(縫い代はパターンに含んでおります)。
- 家庭用ミシンのみでも作製できます。
- 説明文にある「端を処理します」とはロックミシンorジグザグミシンで端をかがることです。
- 110cmサイズ以下の前後身頃パーツの首周りのみ、クルーネック用とフード用の2種類の裁断線が記載されています。
- ニット専用パターンです。

※ こちらのパターンを使用して作られた作品については、委託販売・ネットショップ・オークション等、個人の範囲内に限り自由に販売していただいて構いません。
 ※パターン及び仕様書自体の中古販売・複製したものの配布や販売は、固くお断りさせていただきます。
 ご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。

★出来上がり寸法(cm) ※出来上がり寸法は型紙を計測したものです。

	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160
着丈 (半袖ver)	33.5	36.5	39	41.5	45.5	48	52	55.5	58.5	62.5
着丈 (長袖ver)	34.5	37.5	40	42.5	46	48.5	52.5	56	59.5	63
身幅	32	34	36	39	42	44	46	49	51	53
裾丈(長袖)	33	38.5	44	48	53	57.5	62	67.5	72	78.5
裾丈(半袖)	21.5	23.5	25.5	27	29	31.5	33	35.5	37.5	39

★必要用尺(cm) ※150cm幅

	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160
前後身頃のみ	40	45	50	50	50	55	60	65	70	70
前後身頃+フード	40	45	50	50	50	55	100	105	115	115
脇布+袖	30	30	35	35	40	40	45	45	50	50

※上記の他に、幅×30cm程の付属ニットが必要です。

※上記用尺は差し込みでとった尺となりますので、柄合わせが必要な場合はこれより多めにご用意ください。

用意するもの

- 半袖ver推奨生地…天竺ニット、スムースニット、フライスニット、ミニ裏毛ニット、ワッフルニットなどの薄手ニット生地
- 長袖ver推奨生地…裏毛ニット、ミニ裏毛ニット、ワッフルニット、ジャガードニット、キルトニット、ダンボールニット等の厚手ニット生地
- 付属ニット、フード口用ニット…スパンテレコorスパンフライス
- 接着芯または伸び止めテープ…(フードverのみ)10cmくらい



※上のパーツは長袖ver+フードありの場合です。

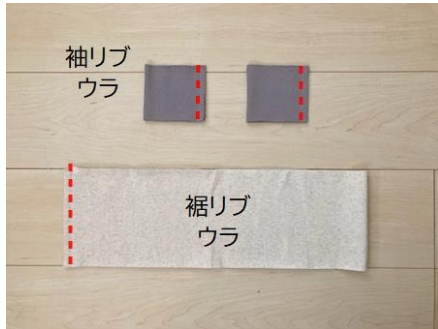
★クルーネックの場合…

フード+フードリブを衿リブパーツに差し替えて裁断

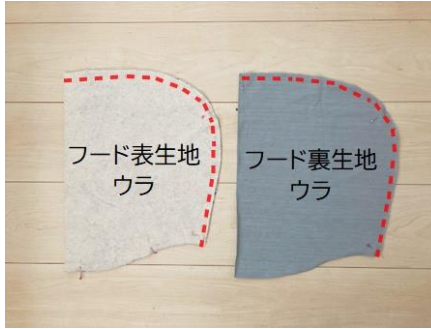
★半袖verの場合…

長袖+袖リブを半袖パーツに、長袖用脇布(上)を半袖用脇布(上)に差し替えて裁断します。

【長袖ver縫い方手順】



1. 袖リブ、裾リブ、(クルーネックの場合は衿リブも)を表が中になるよう半分に折り、端1cmのところを縫い合わせます。縫い代を割って表に返し、短い辺を半分に折っておきます。
※クルーネックの場合は工程7へ



2. 表フード・裏フードをそれぞれ中表に合わせます。カーブを縫い合わせ、縫い代を割ってアイロンで押さえます。



3. フード口のリブを半分に折り、アイロンで押さえます。



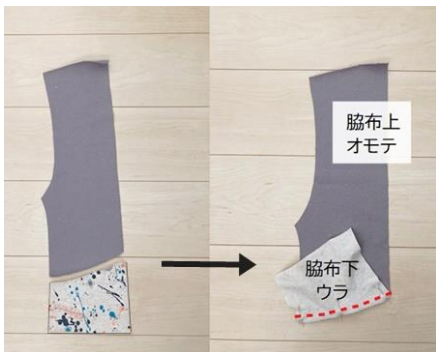
4. 表フードの表側まっすぐのラインに、フード口のリブ(「わ」ではない側)を合わせます。



5. リブを挟むように裏フードを中表に重ね、フード口を直線ミシンで縫い合わせます。※リブ寸法の方が少し短いので、リブは伸ばし付けになります。



6. 表に返し、形を整えてアイロンで押さえたらステッチで縫い止めます。フードはこれで完成です。



7. 脇布上と脇布下を中表に合わせ、縫い合わせて端を処理したものを4枚作ります。縫い代は下側に倒し、アイロンで押さえます。



8. 7で作ったものを身頃の左右に合わせ、身頃と中表になるよう脇布を重ねます。



9. 左右それぞれ縫い合わせ、端を処理します。前後身頃とも同じ工程です。



10. 縫い代は身頃側に倒し、アイロンで押さえます。表からステッチで押さえても良いですが、伸びやすいのでお好みで...



11. 身頃を中表に合わせ、肩を縫い合わせ端を処理します。

※フード付きの場合、フードの重なり部分が引っ張られて伸びやすいため、前身頃ネックの縫い代部分10cmくらいに薄手の接着芯または伸び止めテープを貼ると良いです。

※クルーネックの場合はこの後、4-4ページ工程2と3を参照

※半袖verの場合はこの後、4-4ページ工程1～6に続けてください。



12. 身頃表側にフード表側を重ね、フードの後中心と後身頃中心、肩、フード(リブ)端合印、前中心をそれぞれ合わせます。

※フードの左右どちらを上重ねるかは男女特に決まりはないようです。



13. 一周縫い合わせ、端を処理します。



14. 袖中心と身頃肩を合わせ、身頃表に袖を中表に重ねます。縫い合わせて端を処理します。(左右とも)



15. 身頃と袖を中表にたたみ、袖先～裾までを縫い合わせて端を処理します。



16. 裏を表にした身頃裾に裾リブを入れ、縫い合わせて端を処理します。



17. 袖も同じように袖リブを入れ、端を処理します。



18. 表に戻して完成です。



1. 袖先に空ロックまたはジグザグミシンをかけ1.5cm折り返し、アイロンで押さえたらステッチを掛けます。



2. 工程1と同じ手順で作ったクルーネックリブを、工程7~11で作った身頃に中表に入れて縫い合わせ、端を処理します。



3. 表に返しアイロンで押さえ、お好みでステッチをかけます。
※長袖verの場合はこの後、4-3ページ工程14に続けてください。



4. 4-3ページの長袖の工程14と同じように袖を付けた後、身頃と袖を中表にたたみ、袖~裾を縫い合わせ端を処理します。



5. 裾に空ロックまたはジグザグミシンをかけ2cm折り返し、アイロンで押さえステッチをかけます。



6. 表に返して完成です♪